

寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議 議事録（要旨）

会員 13 名中 10 名参加

【日 時】 令和 5 年 2 月 20 日（月）午後 2 時 00 分ごろ～午後 3 時 30 分ごろ

【場 所】 寝屋川市役所議会棟 5 階 第二委員会室

【配布資料】・第 15 回寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議 次第
・第 15 回寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議 席次表
・寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議 資料

【出席者】

第 1 号会員 公募市民 前田 寛 氏
第 2 号会員 寝屋川市商業団体連合会 岩根 浩仁 氏
寝屋川市工業会 尾崎 教仁 氏
寝屋川市農政推進協議会 玉川 好裕 氏
第 3 号会員 北大阪商工会議所寝屋川支所 榎並 佑亮 氏
第 4 号会員 大阪電気通信大学 伊藤 義道 氏
摂南大学 尾山 廣 氏
大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部 富加見 隆 氏
第 5 号会員 寝屋川市消費者協会 森田 順子 氏
会 長 市産業振興室長 猪俣 由紀子
市 事 務 局 近成課長、津川係長、大橋係長、前田、川田

【欠席者】

第 2 号会員 寝屋川市商業団体連合会 米田 秀樹 氏
寝屋川市農業委員会 奥野 隆雄 氏
第 4 号会員 大阪公立大学工業高等専門学校 中田 裕一 氏

【傍聴者】

1 名

【要 旨】

1 会議の公開・非公開

・会議の公開・非公開について諮り、原則どおり公開とすることを決定した。

2 会員様から御提供いただいた案件

- ・榎並会員から「時流に沿った産業振興に関するセミナーの開催」について、説明が行われた。
- ・北大阪商工会議所では、市内事業者等からの要望によりセミナー（令和4年度実績：「インボイス制度対策セミナー」「事業承継M&Aセミナー」）を開催しており、また、市と共催で開催しているセミナーもあり、市内事業者への周知等において連携している。
- ・事業者が知りたいこと、求めていることをタイムリーに捉え、時流に沿ったセミナーを開催するため、市内事業者等から相談、要望があれば、調整をさせていただく。

3 令和4年度主な事業の報告

(1) 寝屋川わくわく商品券事業

- ・寝屋川わくわく商品券事業について、販売冊数等の事業報告を行うとともに、寝屋川市商業団体連合会から御提供いただいたアンケート結果を紹介した。

【質問・意見】

- ・プレミアム率を30%（例年は10%で実施）に引き上げて実施したことや物価高騰の影響等もあり、市民からの反響が大きく、店頭販売における販売店舗各所で長蛇の列ができた。また、発行部数を6万冊から10万冊に増刷したため、換金作業も大変であった。
- ・商品券のプレミアム率分は市が補助しているのか。
 - 全てではないが、大半を市が補助している。また、商品券等発行事業に係る事務費等の費用についても補助を行っている。
 - 商業団体連合会の理事等が中心となって事業の事務を担っているため、事務費の抑制が図れており、他市で実施する場合、この予算規模での実施は恐らく困難である。

(2) ねやがわパーク事業

- ・令和4年11月に開催した「ねやがわパーク事業（月見とランタンの夕べ）」の事業報告を行うとともに、令和5年3月に開催する「ねやがわパーク事

業（桜と光の舞い）」について、事業内容を説明した。

【質問・意見】

- ・パーク事業における成果、効果の測定において、来場者数や出店者売上額など何を成果指標として設定しているか。
→成果指標については、来場者数を設定している。出店者の売上額については、具体的なデータを持ち合わせていないが、「盛況であった。」「売上額が伸びて良かった。」等のお声をいただいている。

(3) 小規模企業者物価高騰対策緊急支援事業

- ・小規模企業者物価高騰対策緊急支援事業について、申請・支給状況等の事業報告を行った。

(4) 農地のマッチング事業

- ・農地のマッチング事業におけるマッチング成立件数や成立案件の概要等の実績について、事業報告を行った。

(5) 貸農園整備事業補助

- ・貸農園整備に係る補助事業の補助件数等の実績について、事業報告を行った。

4 令和5年度主な事業（実施予定）

(1) 経営支援アドバイザー等による支援

- ・経営支援アドバイザー等による支援について、概要・目的、取組内容について、事業説明を行った。

【質問・意見】

- ・経営支援アドバイザーの人数が以前に比べると少なくなっているように思うが、決まっているのか。
→現状は、7人の経営支援アドバイザーが在籍している。アドバイザーの定員は決まっているわけではないが、勤務日数等に応じて、7～8人で事業者等からの相談に対応している。

(2) 商業活性化総合支援事業

- ・商業活性化総合支援事業について、概要・目的、補助内容、実績等の事業説明を行った。

【質問・意見】

- ・防犯カメラの設置に係る補助金は、新設のみが対象となるのか。
→新設のみ対象となる。
- ・商店街等への新規出店に係る補助金について、市に補助金申請があった場合、出店する商店街への会長等へ事前に連絡をいただけるのか。
→補助金申請の際には、提出書類として「市内商店街等へ出店することに対する市内商店街等の代表者の意見書」を添えていただくこととしている。今後も引き続きそのように実施していきたい。
- ・ふるさと納税による流出額が増加すると税収減となる。ふるさと納税向けの商品開発などに使える補助金があってもよいのではないのか。
→現行、経営支援アドバイザーによる無料相談により、事業者個々に商品開発等の相談に対応している。御提案いただいた補助金の創設については、産業育成の観点、視点を踏まえ、調査、研究する。
- ・ふるさと納税は市が主体的に実施されるもので、一事業者では対応できない。市が返礼品として採用しない限り、リストアップもされない。今後、事業者や団体からの意見を踏まえ、進めていかれてはどうか。
→過去において、市が補助金を交付し、市内事業者と連携して特産品を開発したことがあった。商品の開発には長い年月が必要となることがある。事業者や団体から御意見、御要望があれば、検討を進めていけたらと考えている。
- ・寝屋川市に有名な特産品が少ないのであれば、開発していくしかない。開発に当たっては、若い世代（20～30歳代くらい）のアイデアや意見を取り入れてほしい。若い世代のアイデアを叶えることができるまちになってほしい。
- ・ふるさと納税において、寄附者に対し贈呈する返礼品は、市が定価で買い取るのか。
→ふるさと納税に関する事務は、企画四課が所管となるため、内容を確認することとする。

(3) 創業応援事業

- ・創業応援事業について、概要・目的、補助内容、実績等の事業説明を行った。また、市内創業ニーズの高まりを踏まえるとともに、よりニーズに即した支援制度とするため、市内創業希望者の支援拡充を検討していることを説明した。

【質問・意見】

- ・萱島などの商店街におけるシャッター通りについて、今後どのようなまちにしたいか、どのような業種を呼び込みたいかなど、市としてどのようなビジョンを描いているか。また、シャッター通りとなっている空き店舗の地権者と出店希望者のマッチング事業は予定しているか。

→萱島地区について、当該地区の特性や今後のまちづくりの方向性等を踏まえ、事業者誘致について検討を進めているところで、今年度においては、まちづくりに精通されている方々を当事業のアドバイザーに選任した。今後、地元の方々などの御意見をお聴きしながら、あらゆる関係者の御協力を得て、検討を進めていく。

→空き店舗の所有者が明確になっていないなど、権利関係の整理が難しく、第三者が勝手に撤去や改修などができないことが、空き店舗解消の足かせとなっている。

(4) 中小企業経営・技術支援事業

- ・中小企業経営・技術支援事業について、概要・目的、補助内容、実績等の事業説明を行った。

【質問・意見】

- ・産学・企業間の交流促進について、どのような団体が実施しているのか。また、教育機関等とどのようなことで連携したいと考えているか等ニーズはつかんでいるか。

→産学・企業間の交流促進に係る補助金においては、工業団体等が研修会や先進地視察を実施し、交流促進等につながるものについて、支援させていただいている。今後、団体や教育機関等から御意見、御要望があれば、相談を受けさせていただく。

- ・産学・企業間連携の取組として、吹田市にあるJA北大阪が教育機関と連

携して、地元産のコメを使い、缶入り飲料「飲めるごはん」を開発した事例がある。

- ・以前はベンチャービジネスコンテストにより、学生の意見を聴く機会があった。復活してもよいのではないか。

→前回と全く同様とはいかないかもしれないが、今後、団体や教育機関等から御意見、御要望があれば、相談を受けさせていただく。

5 その他

- ・尾山会員から「摂南大学における新学部開設」について、説明が行われた。
- ・令和5年4月から寝屋川キャンパスにおいて、現代社会学部を開設する。フィールド型アクティブ・ラーニングによる主体的な学びを実践するもので、市を始め、農業、商業、工業のそれぞれの団体や地元の方々などの御支援、御協力をいただきながら、進めていきたい。

6 今後のスケジュール

- ・今後のスケジュールについては、事前に日程や案件の調整をさせていただく。